

第4期 高齢者福祉計画 介護保険事業計画（素案）に対する意見及び町の考え方について

No.	項目	意見内容	町の考え方
1	計画全般について	<p>「素案」の5つの基本目標のうち、「人と人が支えあう地域をつくる」を重視します。</p> <p>全国的に地域における人と人との結びつきの希薄化が独居高齢者に「孤独死」の恐れを抱かせている状況の克服のため、高齢者自身が中心となった高齢者地域福祉の拠点づくりが求められます。</p> <p>この拠点は、介護予防・高齢者の自立支援に寄与する。元気な高齢者が仲間をつくり、共に地域で能力を発揮し絶え間ない成長を促進できること。各世代の交流の場ともなり、地域の人と人との絆を紡ぎだす場。地域の高齢者をはじめ人々の生活の需要に応える仕事起こしの場、生活支援「なんでも屋」的な場。等の機能を備えるものと考えられます。</p> <p>「拠点」が日常的に機能するためには、高齢者の歩行可能範囲内に一ヶ所ずつ設定される必要があります。その範囲は小学校の通学範囲と重なると考えられます。</p> <p>高齢者を単なるサービスの受け手とせず自治体の住民とし、住民自治の主体者として人生を全うできる施策が求められています。葉山町においても高齢者層をはじめ各世代・各分野で「自前の福祉」等の自主的な活動が積み重ねられており、行政との連携を作り出す場が期待されています。</p>	<p>高齢化の進展による一人暮らしの高齢者の増加などにより、「人と人が支えあう地域をつくる」ことの重要性は、今後ますます高くなると認識しています。</p> <p>町では現在、生きがいミニデイサービス事業による、ボランティアグループの支援などを行っており、各地域で高齢者の居場所になるとともに、子どもなど異世代との触れ合いのプログラムを行う団体も増えております。</p> <p>次期計画においても、高齢者を孤立させないための地域生活支援体制づくりに努めていくこととしております。</p> <p>また、今回いただいた提案につきましては、高齢者福祉のみならず、地域福祉の視点を含んだ幅広い内容となっておりますので、町の福祉施策全般に対する有益な提案として、今後の施策を進める上での参考とさせていただきます。</p>